

研究課題番号	3-1804
研究課題名	物理選別とエージングを組み合わせた「焼却主灰グリーン改質技術」の確立
研究実施期間	平成 30 年度～令和 2 年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	肴倉 宏史

1. 委員の指摘及び提言概要

グリーン改質技術に関して、受賞を含め多くの査読論文の発表があり、学術的な研究成果が生み出されたものと考えられる。社会実装できる成果が得られていると評価する。促進エージング処理は、炭酸ガスの有効利用という観点もあり、焼却工場の地球温暖化防止への寄与でも宣伝できる。従来廃棄物の焼却灰の資源化は、セメント原料化やスラグにすることが主流であったが課題も少なくない。本研究のエージングは比較的シンプルな技術でコスト的にも他の方式より有利と考えられる。エージングは他の技術の課題を解決する可能性も有しており、エージングの課題を整理したうえでの研究の進展に期待している。今後、2050 年カーボンニュートラルに向けて、焼却排ガス中の CO₂ の分離回収が促進されることから、オンサイトエージングでの CO₂ 活用は大きな可能性を秘めており、ぜひ、実用化に向けて研究を進めてほしい。

2. 採点結果

評価ランク：A